

県内企業における外国人材の受入事例

事例紹介：秋田化学工業株式会社

所在地	にかほ市平沢字井戸尻81
代表取締役	丹野 恭行
業種	製造業（金属加工）
創立	1972年2月
従業員数	108名
外国人の雇用状況	ベトナム国籍 15人（技能14・高度1） インドネシア国籍 4人（技能） （※令和5年11月1日現在）

在留資格	技能実習、高度人材
事業概要	・半導体、真空装置部品の各種表面処理 ・機械装置部品、自動車部品等のめっき処理 ・精密部品の電解研磨、化学研磨

○外国人材受入れの目的・きっかけ

- ・人口減少や地域大手企業の採用拡大など、高卒採用が難しい状況が続き、外国人材を考えていたところ、取引先の企業から送出し機関の紹介があり、受入れを始めた。

○働きやすい環境づくりへの取組内容

- ・外国人材を受入れて6年くらい経過するが、会社で一部負担して月に1、2回の食事会などを開催している。また、気の合う社員と出かけたり、社員の方でコミュニケーションを取っていたようである。
- ・日本語の習得を目的に来ている面もあり、職場では日本語を使うようにしているが、先輩の外国人材の社員が通訳をしながら安全教育などをして、言葉の面で不安が無いようにしている。

○取組の効果

- ・コミュニケーション面での不安なく、仕事を行えている。
- ・習熟度が高く、若い人材が入ることにより、職場の活性化が図られている。

○外国人材の受入れに関する課題など

- ・同じ国籍の同士でSNS等での繋がりがあり、全国の状況を把握しているため、技能実習生として3年滞在後、賃金の高い地域へ移動するケースが多い。
- ・アパートなど地域住民と接する場所に居住しており、近隣トラブルを心配している。地域住民とコミュニケーションを取れる場が必要。
- ・失踪が発生しないか、心配な面はある。

○代表者メッセージ

- ・人手がかかる仕事なので、外国人材に頼らざるをえないと考え採用した。
- ・文化の違いや失敗などもあるがある程度許容していくことが大切。
- ・受け入れにあたっては不安な事も多くあると思うが、働く意欲は非常に高く、メリットも多くあるので、思い切って受け入れてみて欲しいと思う。



作業中の一コマ



BBQ後の一コマ